

平成 20 年 2 月 26 日

各 位

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
代表取締役社長 阿部 修平

マネックス証券株式会社
代表取締役社長 CEO 松本 大

「スパークス・新・国際優良日本株ファンド（愛称：厳選投資）」 新規募集開始のお知らせ

スパークス・アセット・マネジメント株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長 阿部 修平 以下「スパークス・アセット・マネジメント」）は、日本の新・国際優良企業、すなわち、国内市場で圧倒的なシェアを持ち、海外売上高比率の拡大や世界的なブランド力構築が期待される企業は、今後、新興地域などの経済成長の恩恵を受けながら世界的な優良企業へ成長することができると考え、これらの企業に投資を行う新たな投資信託を設定することといたしました。

マネックス証券株式会社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長 CEO 松本 大 以下「マネックス証券」）は、当投資信託設定の趣旨に賛同し、今後の可能性に大きな期待を寄せて、当投資信託の募集を下記の通り開始することといたしましたのでお知らせいたします。

記

投資信託名： 「スパークス・新・国際優良日本株ファンド（愛称：厳選投資）」
（以下「当ファンド」）

商品分類： 追加型株式投資信託／国内株式型（一般型）／分配金再投資可能

当初募集期間： 2008年3月12日（水）から2008年3月26日（水）まで*

設定日： 2008年3月28日（金）

信託期間： 2008年3月28日（金）から2018年3月27日（火）まで

運用会社： スパークス・アセット・マネジメント

当ファンドの特徴：

- (1) 高い技術力やブランド力を有し、今後グローバルな活躍が期待される日本企業（新・国際優良企業）を中心に投資を行う
- (2) ベンチマークを設けず、20銘柄程度に厳選投資を行う
- (3) 原則として短期的な売買は行わず、長期保有することを基本とした投資を行う

詳細はマネックス証券ホームページ (<http://www.monex.co.jp/>) をご覧ください。

また、マネックス証券でお申込みのお客様には、当初募集期間中、申込手数料を無料といたします。

*マネックス証券以外の販売会社の当初募集期間は2008年3月27日（木）まで

【留意事項】

当ファンドのお申込みの際は、以下のことにご留意くださいますようお願い申し上げます。

当ファンドの手数料等について

※下記手数料の合計額は、お申込金額や保有期間などに応じて異なりますのであらかじめ表示することができません。

申込手数料(税込)	3.15%を上限とする。
信託財産留保額	解約請求受付日の基準価額に0.3%の率を乗じた金額
信託報酬(年率)	純資産総額に対して年率1.722%(税抜1.64%)

※その他の費用・手数料として、以下の費用が当ファンドの信託財産から支払われます。

- (1) 監査報酬、目論見書や運用報告書等の作成費用などの諸費用〔純資産総額に対し上限年率0.105%(税込)〕
- (2) 有価証券売買時の売買委託手数料
(ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません。)

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)本文の「手数料等および税金」に関する項目をご覧ください。

当ファンドの主なリスクについて

当ファンドは、株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。従って、金融機関の預金と異なり、投資元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。主なリスクとしては、以下のものが挙げられます。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

(1) 価格変動リスク

当ファンドは、日本の株式を主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

(2) 集中投資のリスク

当ファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄数を絞り込んだ運用を行なうため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

(3) 中小型株式等への投資リスク

当ファンドは、中小型株式等へも投資します。これらの株式は一般的に株式時価総額が小さく、流動性が低いいため、流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値で売却を余儀なくされる可能性があることから、より大きなリスクを伴います。

(4) 派生商品取引のリスク

当ファンドは先物取引などの派生商品に投資することがあります。これらの運用手法は、価格変動リスクを回避する目的等で用いられることがありますが、実際の価格変動が委託会社の見通しと異なった場合に当ファンドが損失を被るリスクを伴います。

(5) 一部解約による資金流出等に伴うリスク

大量の解約があった場合、保有有価証券を売却しなければならないことがあります。その際には市場動向や取引量等の状況によって、基準価額が大きく変動することがあります。

(6)運用制限に伴うリスク

当ファンドの運用は、規制上または社内方針等により売買を制限されることがあります。したがって、これらにより当ファンドの運用実績に影響が及ぶ可能性があります。

(7)その他のリスク

その他、予測が不可能な事態(天変地災、テロ行為等)が起きた場合、市場閉鎖や急激な市況変動が起こることがあります。このような場合、金融商品取引所等の取引停止等やむを得ない事情があるときは一時的に解約等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

マネックス証券について

商号等	マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
-----	--------------------------------------

加入協会	日本証券業協会及び社団法人金融先物取引業協会
------	------------------------

スパークス・アセット・マネジメントについて

商号等	スパークス・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
-----	--

加入協会	社団法人投資信託協会及び社団法人日本証券投資顧問業協会
------	-----------------------------

以 上

【お問合せ先】

マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社

社長室 コーポレートコミュニケーション担当 久保田・金井 電話 03-6212-3750

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

事業開発部 投信グループ 浅野 電話 03-5435-8200